



## エラーメールの仕組み

メールを確実に届けるための運用マニュアル②

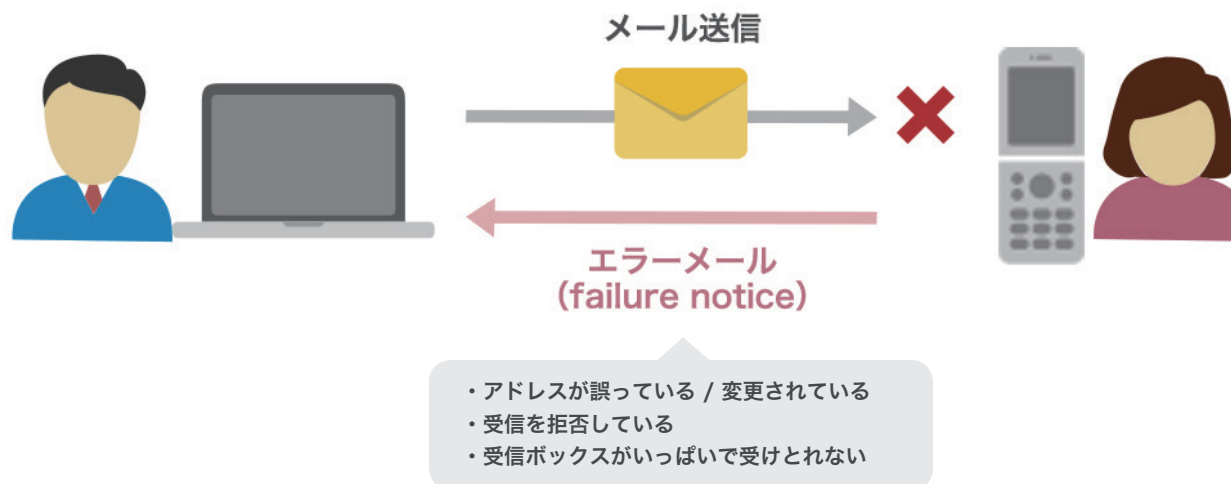


# エラーメールってなに？

普段、お使いになっている携帯電話や、Web メール (Yahoo! メール, Gmail) でメールを送ったら、

- Mail System Error - Returned Mail
- failure notice

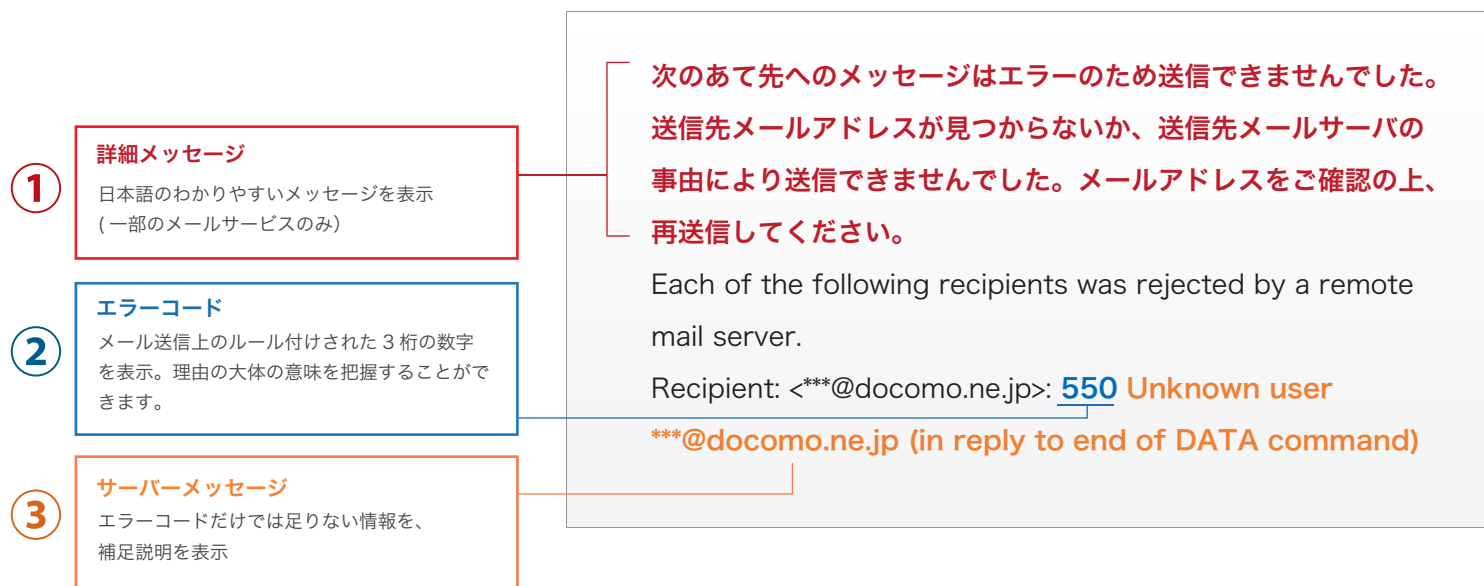
といったメールが返信されてきたことは、ありませんか？これが「エラーメール」と呼ばれる、「携帯を解約していた」「アドレスを変えていた」「拒否をしていた」など何らかの理由で送信できなかった場合に、返信されるメールです。返信されてくるメールに、なぜ送れなかったかの理由が記載されています。



# エラーコードとは

エラーメールとなったものは、なぜ届かなかったのか「理由」があります。その理由を確認するものが、以下の3つです。

エラーメール例



これらのメッセージは、送り先のメールサーバ (docomo, Gmail, hotmail 等) が表示しています。そのため、メールサーバにより、それぞれ内容が異なります。ただし、どのメールサーバも、ルールを守ってメール運用をしています。例えば、青信号なら進め、赤信号なら止まれという「交通ルール」と同じなのです。メールでもエラーコードによって「550 ならメールアドレスがない」「421 ならサーバメンテナンス中」など共通認識を持って表示しているのです。

## エラーコード対応表

エラーコードは、SMTP 応答コード（3桁の数字）の一種です。メールでよく見るエラーコードは、おおまかに分けると2分類あります。

### 4XX：一時的なエラー

サーバのメンテナンスや、お正月など混雑が予想される際は一時的に受け付けてくれない

421	宛先から拒否されました。
450	宛先のメールボックスが利用できません。
451	処理中にエラーが発生しました。送信先のプロバイダーにお問合せください。
452	送信先のシステム容量がいっぱいです。
453	処理中にエラーが発生しました。送信先のプロバイダーにお問合せください。

### 5XX：恒久的なエラー

メールアドレスが誤っている、メールボックス容量がいっぱいなど、対応をしないと解決できない

500	1行に対する文章が長すぎるため受け付けられません。
501	パラメータまたは引数の文法に誤りがあります。
503	コマンドの発行順序が間違っています。
504	コマンドのパラメータが実装されていません。
521	送信先のメールボックスがいっぱいです。
530	送信には暗号化が必要です。
550	送信先のメールアドレスがありません。
550 (rejection)	送信先から受信拒否を受けました。
551	送信先がありません。
552	送信先のメールボックスがいっぱい、またはシステムエラーが発生しています。
553	送信先のメールボックスが利用できません。
554	処理中にエラーが発生しました。送信先のプロバイダーにお問合せください。

# どう運用すれば良いか？

エラーになっても構わないので、そのまま放っておいても…などと考えてはダメです。実は、携帯会社(キャリア)やプロバイダーでは、このエラーメール(特に550コード)を「何回も送ること」「大量に送ること」を厳しく制限しています。

存在しないメールアドレスに、何回も送信を続けていると…

配信しているメルマガ  
自体の評価低下

コンテンツは  
SPAMメールとみなされる



メールサーバの  
ブラックリスト化

メルマガサービスの  
利用を停止される



ブラストメールでは、最大3回のエラーメールがあった場合、自動で停止する機能を設けております。エラーメールへの再送はお控えいただくようお願いいたします。